

「チルドレンファーストのまちづくり」

～2021年1月現在のまとめ～

福岡県古賀市長 田辺 一城(たなべ かずき)

田辺かずき プロフィール

新聞記者として(22歳～30歳)

福岡県古賀市出身、福岡高校、慶應義塾大学法学部法律学科を卒業。
2003年から、毎日新聞の記者として社会で厳しい状況に置かれた障がい者や経済的困窮者、子どもたち取材し、声を紙面で届けた。大阪社会部では「セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン」の子どもの貧困観を聞き取る調査に密着。「友人の持ち物を欲しいと思う自分が恥ずかしい」といった証言に、貧困が子どもの心理に与える影響の大きさを実感。

福岡県議会議員として(30歳～38歳)

「対話」と「交流」を起点に住民の「声」を政治に反映すること、「手元にある政治」を理念とし、2011年から2期8年務めた。すべての本会議や委員会の質疑で生活のあらゆる分野に及ぶ多くの政策を提案。中でも、子どもの貧困の実態把握、重い障がいのあるお子さんの特別支援学校における医療的ケアの推進、高齢者介護政策の前進などの成果を上げた。

古賀市長として(38歳～、現在40歳)

2018年初当選。チルドレンファースト・誰もが健康で安心して暮らしていける地域社会・産業力の強化を軸に、「オール古賀」のまちづくりを推進中。特に困っている方にスピード感をもって支援策を講じることが地方自治体の責務と考え、コロナ対応の独自策を次々と講じている。



詳しくは
田辺かずきのSNSへ！
随時情報更新中です



福岡県古賀市はこんなまちです！

人口およそ5万9千人、
2万6千世帯が暮ら
しています。
九州最大の都市福岡
市に程近く、JR鹿児
島本線、国道3号線、
九州自動車道古賀
ICなど交通アクセス
に恵まれています。

福岡県

白砂青松の美しい海岸線、
蛍が飛び交う清流、
緑豊かな山々に恵まれた
自然豊かなまちです。



いちご（あまおう）やみかんなど
の生産も盛んで、食料品製造品
出荷額は県内第2位を誇る食
のまちです。

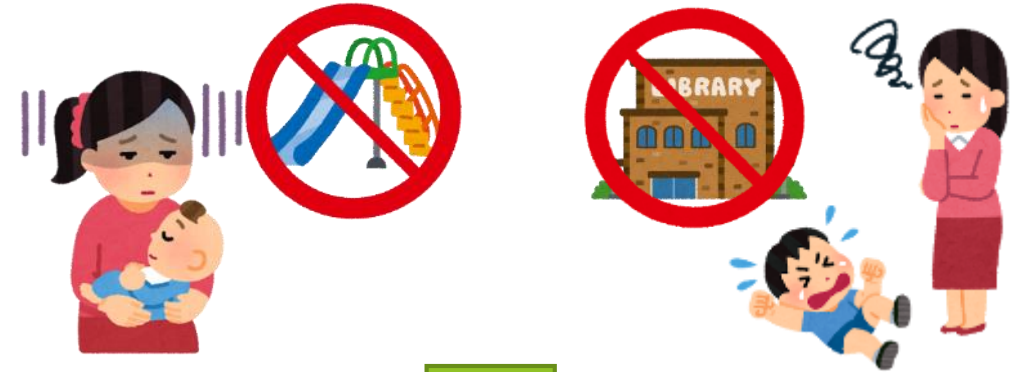


国内初確認の玉虫装飾馬具
などの、多数の豪華な馬具な
どが見つかった、古賀市の前
方後円墳「船原（ふなばる）古
墳」は国史跡に登録されてい
ます。



緊急事態宣言下も子供と保護者の居場所を確保しました

子育て家庭の現場を想像し、育児不安の軽減、児童虐待防止のためには「潜在化」を回避しなければならないとの観点から、古賀市は緊急事態宣言が発令され、ほぼ全ての公共施設を閉鎖せざるを得なかった中でも、乳幼児と保護者の居場所である「つどいの広場『でんでんむし』」を開き続けました。



画像はNHKニュースより

新型コロナウイルス感染症対策における 古賀市のチルドレンファーストの取り組み

子育て世代の経済的困窮を支援する取り組み

- 子育て世帯への臨時特別給付金
- ひとり親世帯緊急支援金支給(5万円)
- 臨時休校中の配食事業
- 子どもの元気応援米
- こころにごちそうを
- 家庭保育協力補助金
- 保育所入所の復職期限の延長
- 中学3年生がいてインターネット環境がない場合、無線LANルーター貸与と通信費の補助
- 高校生などがいる生活が厳しい世帯へ、高校生ひとり当たり1万円を給付
- ひとり親世帯へ追加支援

学校や幼保の現場を支援する取り組み

- 小・中学校の臨時休校、保育所等の臨時休園
- 小1特別自習室・自学自習教室開設
- 中学3年生に1人1台端末の確保(7月に完了)
- 年内に全ての小中学生に1人1台端末を配備
- 全ての普通教室に大型モニターを設置
- 修学旅行における感染症対策費用を助成
- 小中学校の消毒作業を行う臨時職員を採用

子ども達の心を大切にした取り組み

- 小1歓迎サクラサクプロジェクト
- 恩師からのエールをまとめたリーフレット送付
- 市内中学・高校の吹奏楽部の演奏会を開催
- 中学3年生の交流試合を実施
- シトラスリボンを全市へ
- 成人式を3会場に分散して開催へ

社会的に弱い立場の方に寄り添う取り組み

- 医療的ケア児へ消毒用アルコールの配布
- 妊娠中の市役所職員の在宅勤務
- 子育て中・妊娠中の従業員への配慮を事業者へ依頼
- 市内在住の妊婦へ不織布マスクを配布
- 新生児特別定額給付金
- 緊急事態宣言下もつどいの広場「でんでんむし」を利用可能に



子ども達の心を大切にした取り組みをご紹介します



サクラサクプロジェクトとして新小学1年生の写真を集め、満開の桜に見立てて教室に飾り、入学式が中止になった新入生を元気づけました。



市内全ての小中学校の校庭に1文字ずつ「えがおでげんきに あおう」のメッセージを書きFacebookに投稿し、臨時休校明けの小中学生を励ました。



市内の高校生を応援するため、中学校時代の恩師の先生方からメッセージをいただきリーフレットにまとめ、高校生等がいるご家庭へ書類とともに送付しました。



市内中学・高校の吹奏楽部の演奏会や、中学3年生の交流試合を開催し、大会が中止となった部活動生の集大成の場を設けました。

市役所職員や教職員の皆さん、各種団体の皆さんの、心に寄り添う優しさと柔軟な発想、たくさんのご尽力のおかげで様々な取り組みが実現できています。
引き続き古賀市として全力を尽くしてまいります！



コロナ禍前からの古賀市のチルドレンファーストのまちづくり① ～くるサポ訪問を行っています～



初産を迎えるすべての妊婦さんを
専門職スタッフが訪問する事業
「くるサポ訪問」を行っています
(令和2年度開始事業)



《ご利用いただける方》※ご利用は無料です
市内在住の妊産婦さん
(妊娠30～35週ごろから産後概ね1年まで)
※希望される方は2人目以降もご利用いただけます

《訪問するスタッフ》
古賀市子育て世代包括支援センター「KuRuKuRu(くるくる)」の専門職スタッフ2名
(助産師・保健師・管理栄養士・保育士)



「KuRuKuRu」は平成31年4月に開設した古賀市子育て世代包括支援センター(サンコスモ古賀内)の愛称名です。
妊娠・出産、乳幼児期にわたって、さまざまな相談を受け付ける「ワンストップ」窓口で、専門職スタッフが相談や支援を行います。

詳しくは
こちらです。



コロナ禍前からの古賀市のチルドレンファーストのまちづくり② ～小児がん治療で予防接種の免疫を失った子どもの再接種費用の助成～



白血病の治療に伴う骨髄移植手術や、小児がん治療に伴う抗がん剤治療を受けると、それまでに予防接種で獲得した抗体が失われ、再接種が必要になります。ただし**任意接種扱いとなり、費用は全額自己負担**（全て受けると20万円ほど）かかることになります。



がん患者を支える家族の経済的、身体的な負担が大きいうえに、こうした予防接種の制度上の欠陥がさらに当事者の負担を大きくしてしまっていました。こうした状況を改善するための制度です。



本件は市長選の公約に盛り込み、**古賀市では2019年から制度をスタート**させました。なお、福岡県としては2020年度当初予算に助成制度が盛り込まれています。これは田辺が県議時代、2018年6月定例会にて小川洋・福岡県知事に提案したものが実現しました。

コロナ禍前からの古賀市のチルドレンファーストのまちづくり③
～小学校から中学校まで全学年で原則35人以下学級を実現～

個に応じたきめ細かな対応の推進を図り、より教員が一人ひとりの児童生徒と向き合えるよう、古賀市では平成28年度から市内すべての小・中学校全学年で少人数学級編制（原則35人以下学級）を実施しています。



他にもこんな取り組みを行っています



2学期制の実施



学習支援アシスタントの
派遣



心の相談室



制服のリユース

コロナ禍前からの古賀市のチルドレンファーストのまちづくり④ ～小中学生と古賀市の未来を考える対話集会「コガトーク」を開催～

令和4年度（2022年度）から10年間のまちづくりの基本指針である「総合計画」の策定作業の一環として、古賀市内の小中学生を対象に「みんなで描く古賀市の未来」をテーマに提案型の作文コンクールを実施し、入賞に輝いた70人の小中学生を対象に対話集会「コガトーク」を開催しました。



コロナ禍前からの古賀市のチルドレンファーストのまちづくり⑤ ～給食時間に市長と対話する「ランチミーティング」を開催～

給食時間に市内の小中学校を訪問し、一緒に給食を食べた後、対話をする「ランチミーティング」を市内すべての小中学校で開催しました。

子どもたちの感性をこれからの市政運営につなげていくことと、主権者としての意識を涵養することを目的としています。



東京オリンピックに向けたルーマニアのホストタウンとして、給食にルーマニア料理を取り入れました

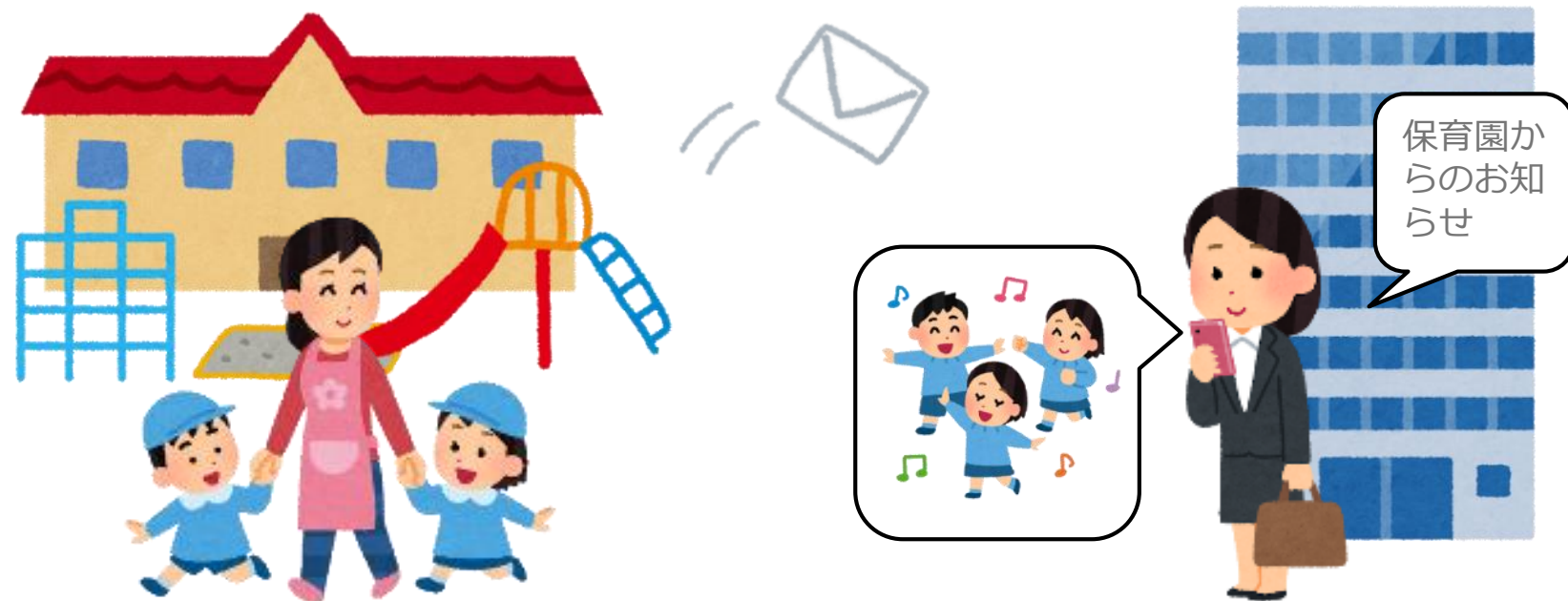


保育のICT化を推進しています

令和2年度から古賀市立鹿部保育所で、ICTサービス「キッズリー」を導入しました。

現場の声をふまえ、まずは防災対応などの緊急連絡や日々のお便りの一斉配信、降園管理からICTサービスを活用しています。

今後は登園管理や子どもの活動の様子の写真配信などにつなげていきます。



保育のICT化によって…

- 先生方が子どもと向き合う時間を一層確保する
- 保護者とのコミュニケーションの効率化・円滑化・深化を目指す

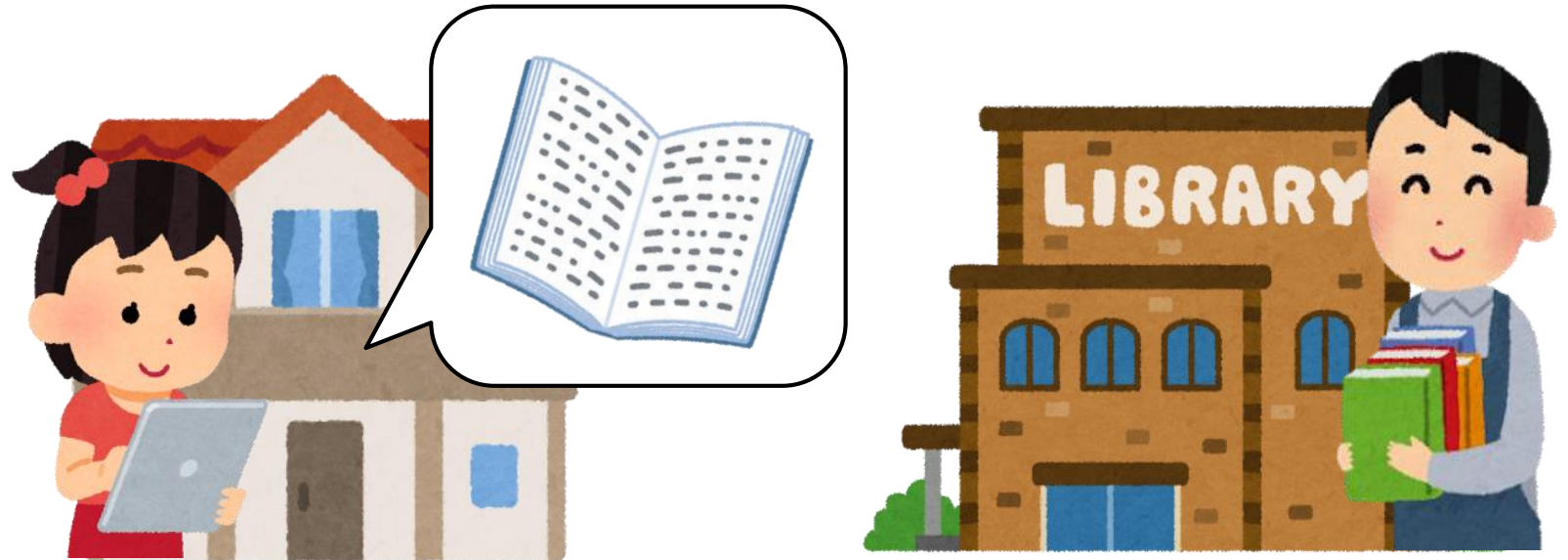
ただし、すべての機能を一気に活用すると、保育士・保護者どちらにも負荷がかかるため、できるところから段階的に活用していくことが大切

電子図書館サービスを導入します

古賀市議会令和2年度12月定例会にて、電子図書館サービスの導入のための補正予算を提案し可決されました。

インターネットを通じて、パソコンやスマートフォンを使って電子書籍を借りて読むことができるようになります。

感染拡大防止の効果も期待されます。



電子図書館が実現すると…

- 自宅などで電子書籍を借りて読むことが可能になる
 - 文字の拡大機能や、読み上げ機能を利用できる
- ⇒障がいのある方や高齢の方も利用しやすくなる

田辺かずきの
チルドレンファーストの
各種取り組み



「未来を創るあなたへ」
恩師からのメッセージを
リーフレットにして送付



「コガトーク」
子ども達との対話集会



緊急事態宣言中でも
子育て支援を続行
——児童虐待防止



部活動生に集大成の
場を！



給食時間に市長が
小中学校へ訪問
「ランチミーティング」



小学校新1年生応援
サクラサクプロジェクト



予防接種の再接種
費用の助成制度



保育のICT化



こがイレブン大作戦
「えがおで
げんきにあおう」



35人以下学級、
学校教育について



電子図書館サービス
実現へ



二次元バーコード対応のスマートフォンのカメラやアプリで読み込んでいただくと、関連する田辺かずきのブログや古賀市ホームページにリンクします。